

令和4年度第1学期終業式式辞（放送）

おはようございます。穎明館生の皆さん、令和4年度第1学期終業の日を迎えました。本日もまた、穎明館の生徒全員にメッセージを送れることを嬉しく思います。

令和4年度第1学期は未だ尚、新型コロナウイルス感染の影響を心配しつつも、教育活動をほぼ予定通りに実施することができました。皆さんにとって、この1学期はどうでしたか。皆さんの様子を見ていて私が思うことは、「学校行事や部活動は楽しいけれど、進学校に通う生徒として勉強について悩んでいる」という人も少なくないということです。そこで今日は「学ぶ」、「勉強」をテーマに少しお話しします。

皆さんは何のために学んでいますか。そもそも勉強とは何でしょうか。いろいろな答え方があります。例えば、勉強とは知識を身につけること。確かにそうですが、一面的な気がします。将来、生きていくための訓練という側面もあります。また、「勉強」には「値引き」という意味もあります。商売の世界では、安値で利益は出ないけれど「我慢する」から買ってくれ、というような意味で使われています。語源でみると、中国語で「勉強」という言葉は、「少し無理をする」とか、「我慢する」という意味もあるようです。「学習内容が難しくわからないところもあるけれど、少し無理をして頑張る」というような皆さんの日常の姿は、勉強の本来の意味に沿っているわけですね。

今、「何のために学ぶのか」ということに悩んでいる人は、少し疲れてきているのかもしれない。何のために学ぶのかわからない、悩んでいるという人を含めて、すべての穎明館生に伝えておきたい。「学び続けなければ学ぶ意味はわからない」と。詩人の荒川洋治さんの言葉に「学ぶためには学ぶ人とはぐれないことである」があります。学ぶ先生、学ぶ友達のそばにいてください。この後のHRでの先生方の贈る言葉を素直に受けとめましょう。

さて、6年生・36期生、受験生の皆さん、「受験勉強はなぜやらなきゃいけないか。受験勉強は役に立つのか」などと思っている人はいませんか。私は担任時代、クラスの生徒にこう言いました。「受験勉強は役に立つ。まず大学に入るために役に立つ。限られた時間に限られた内容をやりきることは処理能力の訓練になる。この中には医者になりたい者もいるね。医者になりたいのなら受験勉強ぐらい真剣にやれ」と。それでも納得しない生徒には、「受験の意味や役に立ったかどうかは大学に入ってから考えなさい」と言った記憶があります。

36期生の皆さん、大切な夏を迎え、全国の受験生皆、苦しい。どんなに勉強ができる人でも、周囲に期待され受かると思われている分、迷う時、苦しい時も訪れるように思います。ゴールを意識して物事を見る「俯瞰の目」を大事にしながら、焦らず、上手に気分転換をはかり、学びを一步一步進めてください。

かくいう私も学生時代には、「なんでこんな勉強なんかしなきゃいけないんだろう」とか、「試験のないところにいきたくない」などと思ったこともありました。それでもいつも勉強は大切だと思って、自分なりに学ぶ努力を続けたつもりです。私が高校生の時に読んで、心を打たれた太宰治の『正義と微笑』の一節を紹介します。

勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならぬ。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベートされるということなんだ。カルチュアというのは、公式や単語をたくさん暗記している事ではなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆったりと、真にカルチベートされた人間になれ！

昔、励まされたり、勇気づけられたり、癒されたりした言葉が、心にこだましてきます。——「カルチベートされた人間」、すなわち「耕された人間」になれ。勉強によって自分を耕し、よい人格を身につけ、よい人生を送ってほしい。忘れてしまってもいい。それでも残った一つかみの砂金を大切にしてほしい。——

皆さんが学び続ける中で、一つかみの砂金を手にしていくことを心より願っています。

さて夏休み、暑い毎日が続きそうです。熱中症やコロナ感染等の防止、くれぐれも健康管理に気をつけて元気に、安全に過ごしましょう。戦火のやまないウクライナについて、日々伝えられる報道に接するたびに心が痛みます。一日も早い停戦と国際社会の安定を願いつつ、とくに8月6日、9日、15日には、戦争と平和についても考えてみてください。理想と現実のはざままで、モヤモヤするだけでも構いません。うまく言葉にならない、説明できない、そんなモヤモヤする自分を基準に、結論を急がず、思索し続けることが大切だと思います。

以上、令和4年度穎明館中学高等学校第1学期終業式式辞と致します。